

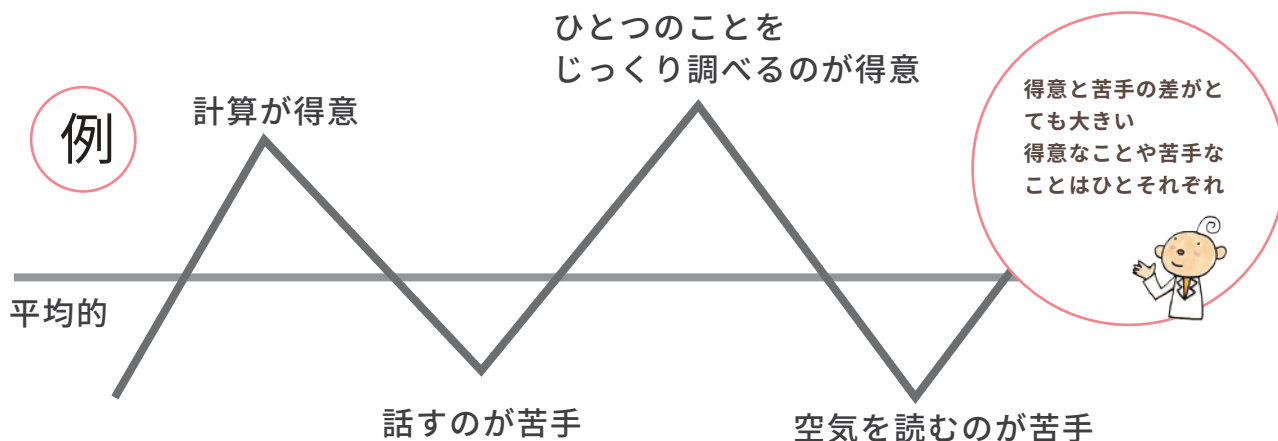
はったつ しょうがい 発達障害 1



特徴は子どもの頃（18才くらいまで）にあらわれます。小さい頃には目立たず、大人になってから気づくこともあります。

しょうがい ●どんな障害？

発達^{でこぼこ}の進み方に、早いところや遅いところ（発達の凸凹ともいいます）があり、苦手なことや上手くできないこと増えて、生活や仕事で困ってしまう状態



発達障害の特徴
（「特性」と表現することが多いです）
によって分類されています

発達障害

- ASD [自閉症スペクトラム症]
- ADHD [注意欠如多動症]
- SLD (特異的学習症) など

●どんなことが起こりやすいの？（例）

学校に通う時期

大人になると

落ち着きがない
片付けや整理が苦手

人間関係
空気がよめない

仕事のミスが多く
長続きしない

家事や育児が
うまくこなせない

パートナーや子どもの
気持ちの理解が苦手...

- こんな気持ちになりやすい
- 自信がない
 - 自分がヘンだと感じる
 - 生きにくいかんじ
 - 状況がわからなくてこわい
 - わかってもらえない
 - ...

はったつ しょうがい
発達障害 2

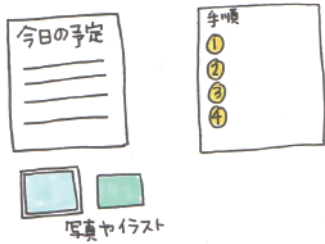


発達の凸凹のしかたがひとそれぞれなので、困りごと人も人によって違います。その人にあったオーダーメイドの生活のしかたを考えます。

●どうしたら生活しやすくなるの？

参考：SPELL の原則（イギリス自閉症協会）
Structure/Positive/Emphasis/Low arousal/Links

○わかりやすい枠組み



○ほめる



○つながる



○理解と共感



○静かでおだやかな環境



長所を伸ばし、短所は工夫して補い、できないことは無理せずに周囲の人にお願ひしましょう。



●どれくらいの人がいるの？原因は？

100人に6-7人くらい*



発達障害は
○もともとのその人の特性
× 努力不足

※このシートの全文、さらに詳しい情報はウェブサイトでご公開中

子ども情報ステーション
発達障害

検索

*文部科学省が平成24年に実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の結果より